

認証評価結果に対する
改 善 報 告 書
[日本高等教育評価機構]

平成 29 (2017) 年 7 月
ノースアジア大学

認証評価結果に対する改善報告書

平成 29 年 7 月 11 日

1. 大学名：ノースアジア大学

2. 認証評価実施年度：平成 28 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1 学生の受入れ

2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持

【改善を要する点】

○法学部法律学科と観光学科の収容定員充足率が 0.7 倍未満である点については、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 について

(改善の経過)

《法律学科》

1. 学生募集の課題

法律学科では、平成 29 年度入学生の傾向から、学生募集の課題を以下のように分析した。

- ① 公務員試験指導の成果については、法律学科が本学他学科を圧倒していることから、その実績を公務員志望の志願者に強く PR する必要がある。
- ② 多くの高校生にとって、法律学が法律専門職のみにしか役立たないというイメージを持ち、そのため、法律学科の卒業生が民間企業に就職していることの認識に欠けることから、高校教員や高校生に対して法律学の汎用性について理解を促す必要がある。
- ③ 明桜高校生の法律学科への入学が少ないことから、その獲得に努める必要がある。
- ④ 硬式野球部等の強化部への入部を希望する高校生が他学科への入学へ流れていることから、その獲得に努める必要がある。

2. 新コースの設置

法律学科では学長のリーダーシップの下、高校生に法律学を学んだ後の多様な進路に対応するために、平成 29 年度から、従来の「法職コース」「地域政策コース」「ジャーナリズムコース」を改め、新たに以下の「行政コース」「企業コース」「法律コース」を設置した【資料 2-1-1】。

- ① 公務員養成に特化した「行政コース」を設置。このコースに所属する学生全員を国家試験等センターの研究室に入室させ、コース専用の勉強会を毎週水曜日に実施するなど、他学科の公務員コースと差別化を図った。
- ② 従来の「ジャーナリズムコース」を「企業コース」に再編し、民間企業で必要

な民事系科目やインターンシップを推奨し、法律学を活かした様々な企業への進出を目指すこととした。

- ③ 高校卒業時にやりたいことが決まっていな生徒や強化部員のために、「法律コース」を設置した。このコースでは、法律学の汎用性を活かした多様な進路の実現を目指すこととした。

3. 学生募集活動の活性化

(1) 明桜高校向け学内大学進学説明会ならびに先輩講話

平成 29 年度 2 月 1 日・2 日、明桜高校 1 年生・2 年生保護者を対象に大学 40 周年記念館にて、法律学科の公務員合格実績を中心に公務員参観など公務員養成の取り組みや国家試験等センターとの連携を説明した。また先輩講話においては、公務員合格者に加え、民間の大手企業に合格した明桜出身の法律学科生が講話を行うことで、法律学科に進んだ明桜生の高い成長力と法律学科生の多様な進路をアピールした【資料 2-1-2】。

(2) 進学説明会資料の工夫

- ① 進学説明会用資料の内容・表現を平易化し、イラストを入れるなど法律学の堅くて難しいイメージの払拭に努めた【資料 2-1-3】。
- ② 法律学科所属の野球部員の活躍を掲載した資料を作成するとともに、金森栄治野球部コーチの元プロ選手としての活躍や指導者としてプロ野球史に残る一流選手を育て上げた実績等を紹介することで、本学野球部への入部を促している【資料 2-1-4】。

(3) 高校教員向け学内進学説明会の実施

平成 29 年 5 月 24 日、本学大会議室にて、秋田県内の高校教諭を対象に、学園内進学説明会を開催し、平成 30 年度のノースアジア大学案内、就職状況、平成 30 年度入学試験日程、平成 29 年度オープンキャンパス・強化部活動練習会日程等について説明した【資料 2-1-5】。

(4) 大学案内における PR 方法の工夫

平成 30 年度入試の大学案内について、法律学科の公務員実績を PR できるような工夫をした。

- ① 公務員行政職合格者を取り上げた。
- ② 学園全体を紹介するページ、法律学科を紹介するページ、国家試験センターを紹介するページで法律学科の公務員合格者を掲載した。

4. 高大連携授業の実施と工夫

(1) 明桜高校との高大連携授業

- ① 明桜高校を対象とした高大連携授業を実施し、法律学科と明桜高校生との結びつきを強化している【資料 2-1-6】。
- ② 本学法律学科のイメージに関する聞き取りを実施したところ、33 名が法律学科の卒業生が就いている仕事に「弁護士」と答えており、明桜高校生にとって法律学は非常に敷居の高いイメージを持たれていることが明らかになった。現在

それが誤解であることを伝え、法律学を活かした幅広い進路について伝えている。

(2) コンソーシアムあきた高大連系授業

法律学科提供科目「高校生の法学・政治学入門～見方を変えれば社会が見える見方が変わればあなたも変わる～」を6月1日より5週間実施し、県内高校生8名が受講した。後期も同様の科目を提供するが、高校生の進路決定時期を配慮して前年度よりも早めに時期を設定し、10月1日より毎週木曜日に5週間実施する予定である【資料 2-1-7】。

5. 明桜高校教諭との情報交換

平成29年5月2日(火)・7月14日(金)明桜高校3年部担当教諭との懇親会を開催した。大学教員からは、法律学科に進学した明桜高校出身の学生の近況、高校教諭からは3年次の進学志望の状況等について情報交換がなされた【2-1-8】。

6. 強化部員対象募集対策

運動部の学生が法律学や政治学をイメージしやすいように、スポーツの事案を素材とした「スポーツと法」「スポーツと行政」を専門科目群に設置し、強化部員が自らの経験と照らして、法律学・政治学を学べるようにした。また、従来経済学部開講科目であった「スポーツ心理学」「人間行動学」を法律学科でも開講できるようにし、強化部員が興味を持てる科目で取得できる単位数を増やした【資料 2-1-9】。

7. 公務員参観の実施

実際に公務員が働く現場を訪問する公務員参観を今年度も実施する。平成29年度には秋田地方裁判所、秋田地方検察庁、秋田少年鑑別所、秋田県警察学校、秋田市消防学校、海上保安庁秋田海上保安部、自衛隊秋田協力本部、陸上自衛隊秋田駐屯地を訪問予定である【資料 2-1-10】。

8. 平成29年度秋田県私大・短大パワーアップ事業

平成29年度「秋田県私大・短大パワーアップ事業」において学生募集対策のための事業が採択されたことから、法律学科をアピールするパンフレットやポスター、ノベルティを作成し、県内各高校に配布する予定である【資料 2-1-11】。

《観光学科》

収容定員に沿った適切な学生数の維持を図るため、次のとおり観光学科の実情等に応じた改善を図っている。

1. 学生募集活動の活性化

(1) 観光学科教員による進学説明会への参加

平成29年4月上旬から同年7月中旬までに、東北地方で開催された業者主催の進学説明に18回、高等学校における進学説明会に1回参加した。また本年度から、日本航空出身の教員を新たに参加要員に加えることで、ホスピタリティ・ツーリズム

ム産業における仕事の魅力を広く伝え、観光学科の PR に厚みを持たせた広報活動を展開している【資料 2-1-12】。

(2) 明桜高校向け学園内大学進学セミナーの開催

平成 29 年 2 月 1 日・2 日、明桜高校 1 年制・2 年制、保護者を対象に、本学 40 周年記念館にて、観光学科のアクティブラーニングを中心とする学びのスタイル、観光奨学生をはじめとする制度的特徴、卒業生の進路先などについて説明し、併せて先輩講話を実施した【資料 2-1-13】。

(3) 高校教員対象進学説明会の開催

平成 29 年 5 月 24 日、本学大会議室にて、秋田県内の高校教諭を対象に、学園内進学説明会を開催し、平成 30 年度ノースアジア大学案内、就職状況、平成 30 年度入学試験日程、平成 29 年度オープンキャンパス・強化部活動練習会日程等について説明を行った。参加は秋田県内の高校 10 校、高校教諭 14 名であった。説明会終了後の名刺交換会において情報交換を行った【資料 2-1-14】。

(4) 入試広報課職員による高校訪問実績

本学入試広報課では、平成 29 年 5 月から 7 月上旬までの期間に、東北 6 県を中心に 228 校の高等学校を訪問し、学生募集を行った【資料 2-1-15】。

(5) 観光学科パンフレットの改訂

従来から観光学科が独自に作成し、進学説明会で活用してきたパンフレットを高校生に対して訴求力のあるものに改訂した。制度に関する説明文を整理し、各種取り組みと卒業後進路先に関する写真を多く掲載した【資料 2-1-16】。

(6) 学生募集活動における見える化の推進

観光学科に興味を持つ高校生に対する説明方法として、従来、紙媒体のみの活用であったが、本年度からパソコンを利用し、静止画のみならず動画を含め、視覚に訴えるよう工夫している。

(7) 女子高校生への広報活動の重視

観光学科に興味を持つ高校生は、語学に興味を持つ女子高校生が少なくないことから、特に女子の在学生や卒業生の活躍に重点をおいた女子高校生向けの PR 活動を展開している。その結果、平成 29 年度の進学説明会では、観光学科に興味を持つ女子高校生の増加傾向が見られる。

2. 高大連携授業の実施と工夫

(1) 「大学コンソーシアムあきた」高大連携授業

平成 29 年 5 月 31 日から 6 月 28 日までの期間に 5 回、学外にて高大連携授業を実施した。この高大連携授業には、明桜高校以外の高校から 9 名の高校生が参加した【資料 2-1-17】。

(2) 明桜高校における高大連携授業

観光学科では、明桜高校 3 年の 300 名を対象として、新たにキャリア教育を基軸とした高大連携授業を実施した。実施日程は、平成 29 年 7 月 5 日の 2 校時・3 校時、同月 6 日の 1 校時、テーマは、『オリンピックに向けて益々期待される航空業界』である【資料 2-1-18】。

3. 明桜高校教諭との情報交換

平成 29 年 5 月 2 日（火）及び同年 7 月 14 日（金）、明桜高校 3 年部担当教諭との懇親会を開催した。大学教員からは、観光学科に進学した明桜高校出身の学生の近況が、高校教諭からは 3 年次の進学志望の状況等について情報交換がなされた【資料 2-1-19】。

4. オープンキャンパスの魅力化

平成 28 年 3 月に実施した同年度 4 回目のオープンキャンパスから、観光学科の模擬授業を高校生参加型に改良した。その結果、明桜高校の参加者を中心に参加者数を大幅に伸ばした。今年度のオープンキャンパスにおいても、模擬授業を魅力的かつ楽しめるものに改善していきたい。この参加型模擬授業は、観光学科のメンターが大きな役割を担っている。このことは、メンターの資質・能力の向上と制度面での活性化に寄与するとともに、高校生に対して魅力ある在学学生を印象付ける効果も期待できる【資料 2-1-20】。

5. 観光学科のホームページの全面改訂

平成 29 年 3 月に、従来の観光学科の HP を全面的に変更した。各メニューの文章、写真のすべてについて新しいものに変更し、直感的に理解しやすい構成で、かつ魅力的な写真を多用した。メニューは、観光学科での学び方、コース制、海外留学、ノースアジアツーリスト、秋田の旅人友の会、海外・国内インターンシップ、ゲストハウス、観光コンテスト、進路・卒業生、観光学科 Concierge（新着情報）、教育目標、カリキュラム、教員紹介、ゼミナール紹介という構成とした【資料 2-1-21】。

6. 大学案内の見直しと工夫

平成 30 年度入試の大学案内については、前年度の内容・デザインを検証し、次のような工夫を凝らして改善した。①観光学科のページを 2 ページ拡大、②大学案内の表紙に観光学科の女子学生を起用、③各コースの紹介にあたり卒業生の写真を掲載、④将来像・社会人像の説明部分を拡大し、卒業生の写真と進路先を掲載、⑤在学学生・卒業生ともに女子学生を多く採用、⑧「観光学科トピック」を新設し、観光奨学生制度、海外インターンシップ、模擬旅行会社ノースアジアツーリストについて写真入りで紹介している【資料 2-1-22】。

7. 観光学科への入学者受入れを促進する就職支援策

「秋田県私大・短大パワーアップ支援事業」の採択を受け、平成 28 年 3 月、就職支援対策として「OB・OG 懇談会」を開催した。この懇談会は、観光学科を卒業し、民間企業や公務についている社会人を大学に招き、合同企業説明会方式で就職支援を行うものである。手厚い就職支援策によって就職部面で成果を挙げることが、学生募集において志望者の誘因に資することが期待できる。今年度においても同事業の採択を受けたことから、同様の「OB・OG 懇談会」を実施し、ホスピタリティ・ツーリ

ズム産業をはじめ優良民間企業への就職を支援する【資料 2-1-23】。

8. 産業フェア連携「観光コンテスト」

従来から本学観光学科単独で実施していた観光コンテストについて、本年度は、「全国産業教育フェア秋田大会」と連携して実施することとした。同コンテストには、全国の高校から 24 のチームが応募し、決勝審査は本年 10 月 22 日に行われる。このコンテストを通じて本学観光学科を広く広報することが期待できる【資料 2-1-24】。

9. 教育成果の達成に向けた取り組み

観光学科では、従来から「英検」「観光英検」「TOEIC」といった英語科目を多く配置するとともに、国際研究室において授業外支援を充実化させることで、「英語検定」「TOEIC」等の資格取得に対応する学修支援を継続的に実施している。また、観光研究室においても「旅行業務取扱管理者」の資格試験に向けた学修支援を計画的に実施している。その結果、それらの資格試験を目指す学生数が増加の傾向にある。こうした取り組みによって学修成果を達成し、観光学科生の成長を広く社会に情報発信することで収容定員数の改善を図っていく【資料 2-1-25】。

(結果及び今後の計画)

法律学科では、今年度、学生募集の担当責任者を高大連携、オープンキャンパス、進学説明会と、それぞれにおき、部門ごとのその成果を逐一学科長に報告するようにしている。現時点では明確な入学者予定者数を数値化することはできないが、今年度の業者主催の進学説明会では開場全体に多くの高校生が訪れ、その効果として、本学法律学科の説明を聞きに来る高校生も増加傾向にある。また、公務員試験の一次試験の結果が出始め、今年度も法律学科が他の学科を大きく上回る成果を出しており、公務員試験志望者にその点をアピールしていきたい。また、大手金融機関から内定を得ている者もあり、法律学が民間企業志望者にも極めて有効であることを宣伝していきたい。今後は、まずは、明桜高校 3 年生、野球部員が法律学科に志願するよう進学説明会、オープンキャンパスでアピールする予定である。

観光学科の収容定員に沿った適切な学生数の維持を図るための改善策を推進中であることから、現時点において定員の改善状況を客観的な数値で示すことができる段階にはないが、平成 29 年度の進学説明会では、観光学科に興味を持つ女子高校生の増加傾向が見られ、また、平成 28 年 3 月に実施した 4 回目のオープンキャンパスから観光学科の模擬授業を高校生参加型に改良した結果、明桜高校の参加者を中心に参加者数を大幅に伸ばすことができた。今後、学生募集活動については、入試動向を分析しながら、進学説明会や高大連携授業をはじめ、ホームページの改訂、資格試験での合格率向上に向けた学修支援などさまざまな施策を積極的に推進していく。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準 2. 学修と教授

基準項目		
コード	該当する資料名及び該当ページ	備考
2-1. 学生の受け入れ		
【資料 2-1-1】	法律学科新コース (p.1)	
【資料 2-1-2】	明桜高校向け学園内大学進学説明会 (p.2)	
【資料 2-1-3】	進学説明会資料 (p.2)	
【資料 2-1-4】	野球部用進学説明会資料 (p.2)	
【資料 2-1-5】	高校教員向け学内進学説明会 (p.2)	
【資料 2-1-6】	明桜高校高大連携授業依頼文 (p.2)	
【資料 2-1-7】	法律学科「大学コンソーシアムあきた」高大連携授業 (p.3)	
【資料 2-1-8】	明桜高校の教諭との情報交換 (p.3)	
【資料 2-1-9】	新設科目設置趣意書 (p.3)	
【資料 2-1-10】	公務員参観資料 (p.3)	
【資料 2-1-11】	平成 29 年度「秋田県私大・短大パワーアップ事業」 (p.3)	
【資料 2-1-12】	観光学科教員による進学説明会への参加実績 (p.4)	
【資料 2-1-13】	明桜高校向け学園内大学進学セミナー (p.4)	
【資料 2-1-14】	高校教員対象進学説明会 (p.4)	
【資料 2-1-15】	入試広報課職員による高校訪問の実績 (p.4)	
【資料 2-1-16】	観光学科の新パンフレット作成 (p.4)	
【資料 2-1-17】	観光学科「大学コンソーシアムあきた」高大連携授業 (p.4)	
【資料 2-1-18】	明桜高校における観光学科高大連携授業 (p.4)	
【資料 2-1-19】	明桜高校教諭との情報交換 (p.5)	
【資料 2-1-20】	観光学科オープンキャンパスの魅力化 (p.5)	
【資料 2-1-21】	観光学科ホームページの全面改訂 (p.5)	
【資料 2-1-22】	大学案内（観光学科）の見直しと工夫 (p.5)	
【資料 2-1-23】	観光学科への入学者受入れを促進する就職支援策 (p.5)	
【資料 2-1-24】	産業フェア連携「観光コンテスト」 (p.6)	
【資料 2-1-25】	教育成果の達成に向けた観光学科の取り組み (p.6)	